



お知らせ

記者発表資料	平成26年10月30日
配布日	

資料提供先：広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ
中国地方建設記者クラブ
岩国市政記者クラブ

『太田川水系・小瀬川水系の河川協力団体』を募集します

～パートナーシップの拡充に向けた取組み～

「水防法及び河川法の一部を改正する法律」（平成25年7月11日施行）により、河川法に河川協力団体制度が創設されたことを受け、太田川水系と小瀬川水系の国が管理する河川管理区間（ダム湖含む）において、以下のとおり河川協力団体を募集することとしましたので、お知らせします。

【概要】

1. 『河川協力団体』を募集します

- 募集区間 太田川河川事務所が管理する河川管理区間（太田川、小瀬川）
温井ダム管理所が管理するダム管理区間（太田川）
弥栄ダム管理所が管理するダム管理区間（小瀬川）
※募集は太田川河川事務所が行います

○募集期間 平成26年10月30日から平成26年12月19日まで

○募集要項 詳細については、太田川河川事務所のホームページをご確認ください
<http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>

2. 『河川協力団体』について概要を説明します

- 河川協力団体制度及び申請方法について、募集期間締切り日までの間、申し出のあった団体に対し随時説明を行います

『河川協力団体』とは

- ・河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO、町内会等の団体を支援するものです
- ・河川協力団体に指定し、河川管理者と連携して活動する団体として法律上位置づけることにより、自発的な活動を促進しようとするものです
- ・太田川河川事務所における募集は、平成25年に続き2度目になります



太田川
シンボルマーク



小瀬川
シンボルマーク

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所
電話 082-222-9248（管理第一課）

【担当】

副 所 長 江角 信良（えすみ のぶよし）
管理第一課長 丸下 淳一（まるした じゅんいち）

河川協力団体制度の創設

■河川協力団体制度とは？

- ◆ 河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等の民間団体を支援するものです。
- ◆ 河川協力団体としての活動を適正かつ確実に行うことができると認められる法人等が対象となり、河川管理者に対して申請を行います。
申請を受けた河川管理者は、適正な審査のうえ、河川協力団体として指定します。



- ◆河川協力団体は、以下のような活動を行います。

①河川管理者に協力して行う河川工事又は河川の維持



②河川の管理に関する情報又は資料の収集及び提供



③河川の管理に関する調査研究



④河川の管理に関する知識の普及及び啓発



⑤上記に附帯する活動



平成25年6月

国土交通省水管理・国土保全局

■河川協力団体に指定されると

◆許可等の簡素化

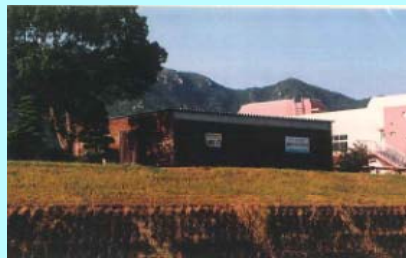
河川協力団体が活動するために必要となる河川法上の許可等※について、河川管理者との協議の成立をもって足りることとなります。

- ※ ・ 工事等の実施の承認（河川法第20条）
- ・ 土地の占用の許可（河川法第24条）
- ・ 土石以外の河川産出物の採取の許可（河川法第25条後段）
- ・ 工作物の新築等の許可（河川法第26条第1項）
- ・ 土地の掘削等の許可（河川法第27条第1項）
- ・ 権利の譲渡の承認（河川法第34条第1項（第24条及び第25条後段の許可に係る部分に限る。））

例) 河川法第24条、第26条の許可が必要



市民団体による看板設置事例

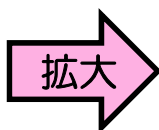


市民団体による活動拠点の整備事例

※ 河川管理者から河川管理施設の維持、除草等の委託を受けることも可能となります。委託先については、公募等の適正な手続きを経て選定を行う予定です。

【現行】

地方公共団体にのみ委託可能



【法改正後】

国土交通省令で定める要件に該当するものに委託可能

《委託の例》

①「河川管理施設の維持」

例) 堤防上の草刈り



堤防除草

②「その他これに類する河川の管理に属する事項」

例) 河川敷の掘削、魚道の改良



ピオトープの整備



魚道の改良

【問い合わせ先】 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1-3
電話：03-5253-8111（代表） 03-5253-8448（直通）